

2022年7月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

7月の「生活自由度」は62.6点で、60点台を3か月連続で維持。 「行動の抑制」が引き続き緩む

株式会社博報堂(本社-東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2022年7月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は7月1~4日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査前の状況】6月の新規感染者数は月初から減少傾向を続け、全国で1日1万人、東京都で1千人を下回る日もみられるようになりました。感染の沈静化傾向を受け、インバウンドの受け入れ再開や、旅行費用を支援する「県民割」の地域拡大方針が発表されるなど、政府も社会活動の活性化に動き始めました。ところが6月末になると感染者数は下げ止まり、増加に転じました。記録的に短い6月中の梅雨明けと猛暑、及び物価高の報道に加え、再びコロナ感染の拡大の兆しが見え始めた段階での調査です。

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

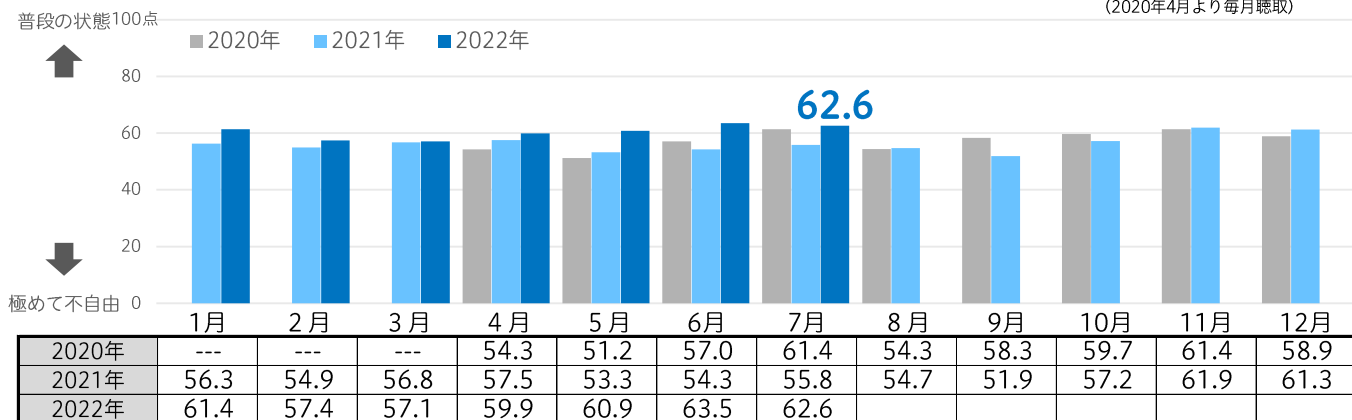
2022年7月は、62.6点

前月差
-0.9pt

前年同月差
+6.8pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2022年7月は62.6点となりました。先月からは0.9pt減となりましたが、60点台を3か月連続で維持しています。前年同月との比較では6.8pt増となっています。

(2020年4月より毎月聴取)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は前月と比べて大きな変化はみられません。増加では「経済の停滞」(75.8%、2.5pt増)、減少では「自分や家族の健康」(58.8%、2.4pt減)などです。【行動の抑制度】も前月から大きな変化はみられません。「旅行・レジャー」(60.3%、3.3pt減)が目立つ程度です。【行動の実施度】では、前月と比べて「人が密集しない屋外でのレジャー」(38.8%、5.2pt減)、「インターネット通販や出前の利用」(34.7%、4.4pt減)、「テレワーク」(有職者のみ、23.4%、3.7pt減)など、感染リスク回避を意識した行動の減少が目立っています。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	経済の停滞	75.8%	+ 2.5pt	+ 1.5pt
	行政の対応	68.3%	+ 1.2pt	- 8.4pt
	自分や家族の健康	58.8%	- 2.4pt	- 7.9pt
【行動の抑制度】 控えている行動	旅行・レジャー	60.3%	- 3.3pt	- 24.2pt
	体験型エンタメ	54.5%	- 1.5pt	- 24.4pt
	外食	52.7%	- 0.3pt	- 22.1pt
【行動の実施度】 行っている行動	人が密集しない屋外でのレジャー	38.8%	- 5.2pt	- 2.1pt
	インターネット通販や出前の利用	34.7%	- 4.4pt	- 13.2pt
	テレワーク *有職者ベース	23.4%	- 3.7pt	- 7.7pt

7月の「生活自由度」は62.6点。先月からは微減となったが、60点を3か月連続で維持

新規感染者数は6月月初から減少を続け、インバウンド施策や自治体の旅行支援策などが推進されましたが、6月末には感染者数が再び増加に転じ始めました。今回の調査時点(7月1-4日)では、生活自由度は前月から微減となっています(注:その後も感染者数はさらに増加を続けました)。

回答理由からは、行動の自粛はまだ残っているが徐々に緩和している様子。社会的な行動再開ムードもうかがえる

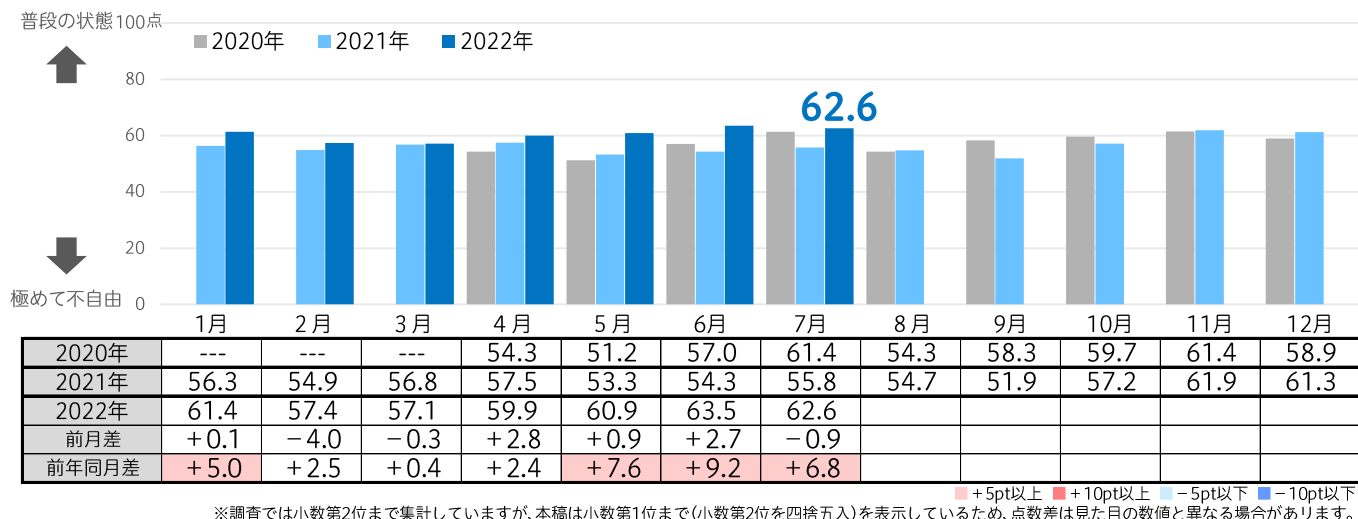
生活自由度「高」:「やっと大学生活が始まった気分」など社会活動再開の空気を上げる声がみられます。リモートワークの浸透や不要な慣習の減少など、社会の快適化を理由とする声もあります。個々人の行動制限はまだ残るものの、ウイルスに関する情報も増え、安心感も増えているようです。

生活自由度「中」:「外食や美容室に行けるようになったなど、行動の広がりがみられます。ただ、「遠出/人混み/多人数会食」についてはまだ控えているとの声も散見されます。「できることも、できないことも慣れた」という声のように、生活行動を淡々と制御している姿がうかがえます。

生活自由度「低」:「マスクが辛い」「家事負担が増加」「とにかく全く旅行に行けていない」といった我慢や、「病院に行きにくい」「陽性者が再び増加」「物価高も含めた生活不安」など、さまざまな不安を感じている声がみられました。

■ 生活自由度

(単位:点/差分:pt)



■ 生活自由度の理由(一部抜粋)

高 (61点以上)	大学入学時からコロナだったので、3年生になり今やっと大学生が始まった気分だから。	100点	21歳男性・埼玉県
	マスクをつけること以外は特に現在行動に不自由がないから。ワクチンも三回接種したし、最低限の感染対策をすればよく、会社も自宅待機やリモートワークが主になっている。100点と答えたが、もっと上でもいいと思う。	100点	42歳女性・千葉県
	外出を元々あまりしていなかったから、特に不自由を感じたことはなかった。不謹慎だが、会社の不必要な活動や文化がなくなり、メリットの方が多い。	90点	50歳男性・大阪府
	今現在は重症化率も低くなったので、感染対策ができているところに外食に行きやすくなった。ただ職業柄、同僚との会食には行きにくくなっている。買い物は感染対策を実施しながら自由にできている。	70点	43歳女性・大阪府
	屋外で十分な距離が取れる場合はマスクを外したりできるようになった。未知のウイルスではなくなり、ワクチンも接種した。	70点	24歳女性・愛知県
中 (41~60点)	日常生活にそんなに支障はないが、休日にどこか遠出の旅行に行くことはまだできない。	60点	24歳男性・兵庫県
	人混みや大人数での会食は避ける、不特定多数の人が触る物には触れない、といった生活をしているため。	60点	39歳女性・神奈川県
	自分から遊びに誘ったりすることがなくなった。友達の誘いにも躊躇する自分がある。	60点	31歳男性・大阪府
	外食や美容室をこれまで控えてきたが、わりと行けるようになった。	50点	55歳女性・大阪府
	できることもできないことも、だいぶ慣れた。	50点	48歳男性・愛知県
低 (40点以下)	マスクが辛い。風邪の熱でもコロナかもしれないからと考え、気軽に病院を利用できない。配偶者は外国人だが、なかなか国に帰れない。	40点	25歳女性・愛知県
	対面での交流が元通りにできていない。陽性者がまた増え始めている。	30点	65歳男性・埼玉県
	子供と主人が在宅している日や時間が格段に増えて、家事の負担も同じように増えた。平日の昼間に、気晴らしに一人で遠出することが月に1度くらいはあったが、時間とお金の余裕がなくなり、全くそれが叶わなくなった。	20点	51歳女性・埼玉県
	同調圧力によるマスクの強要、物価の高騰やサービスの劣化。コロナウィルスの流行以降、暮らしの状況がよくなったことが一つもないから。	10点	39歳男性・大阪府
	コロナ前は年5-6回は海外に行っていたのに、規制のせいであまり行けていない。海外に行く以外にお金を使う気はない。	0点	57歳女性・大阪府

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】は前月と比べて大きな変化はみられない

前月比較で増加したのは「経済の停滞」(75.8%、2.5pt増)、減少したのは「自分や家族の健康」(58.8%、2.4pt減)といった程度です。

前年同月比較*では、多くの項目が減少。「行政の対応」(68.3%、8.4pt減)、「自分や家族の健康」(58.8%、7.9pt減)が大きく減少しています。

【行動の抑制度】も前月と比べて大きな変化はみられない

*注:「海外の情勢」の前年同月からの増加(10.4pt増)には、ロシアのウクライナ侵攻の影響が考えられます。]

前月比較では、「旅行・レジャー」(60.3%、3.3pt減)が目立つ程度です。

前年同月比較では、「体験型エンタメ」(54.5%、24.4pt減)、「旅行・レジャー」(60.3%、24.2pt減)をはじめ、すべての項目で10pt以上減少しました。

【行動の実施度】では、感染リスク回避を意識した行動が前月から減少

前月比較では、「人が密集しない屋外でのレジャー」(38.8%、5.2pt減)、「インターネット通販や出前の利用」(34.7%、4.4pt減)の減少が目立ちます。

前年同月比較では、「家の中でできる娯楽」(52.6%、17.7pt減)をはじめ、5pt以上減少している項目が多くみられます。

収束後に取り組むと思う行動[予想]…[実態]より[予想]が高いのは、「自分で料理する」(+8.7pt)、「投資や資産運用」(+7.8pt)などとなっています。

■ 生活意識・行動

【不安度】

	[実態] 感じている不安					(単位: % / 差分: pt)
	22年5月	22年6月	22年7月	前月差	前年同月差	
経済の停滞	72.9	73.3	75.8	+2.5	+1.5	
海外の情勢	74.7	73.5	74.5	+1.0	+10.4	
行政の対応	66.0	67.1	68.3	+1.2	-8.4	
自分や家族の健康	61.5	61.2	58.8	-2.4	-7.9	
自分や家族の仕事・収入	59.2	57.7	58.7	+1.0	+3.0	
情報の不足や不確かさ	59.0	57.9	57.6	-0.3	-7.6	
人づきあいの変化	39.7	37.5	36.7	-0.8	-7.2	

【行動の抑制度】

	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差(最新月)
	22年5月	22年6月	22年7月	前月差	前年同月差	22年5月	22年6月	22年7月	前月差	前年同月差	
人とのボディタッチ(握手やハグなど)	69.6	65.7	67.3	+1.6	-12.8	60.5	59.9	57.8	-2.1	-3.1	-9.5
旅行・レジャー	65.9	63.6	60.3	-3.3	-24.2	45.9	45.0	42.7	-2.3	-5.5	-17.6
不要不急の外出	62.1	56.5	57.4	+0.9	-23.7	52.7	51.7	51.0	-0.7	-3.9	-6.4
交友・交際	61.9	57.4	57.3	-0.1	-22.5	48.1	47.5	46.6	-0.9	-2.2	-10.7
体験型エンタメ(ライブ・観劇・映画鑑賞など)	60.8	56.0	54.5	-1.5	-24.4	47.0	44.5	43.7	-0.8	-5.9	-10.8
外食	57.2	53.0	52.7	-0.3	-22.1	44.5	45.1	42.3	-2.8	-5.0	-10.4
不要不急の買い物	55.6	51.8	51.5	-0.3	-19.5	50.8	48.8	48.1	-0.7	-3.6	-3.4

【行動の実施度】

	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差(最新月)
	22年5月	22年6月	22年7月	前月差	前年同月差	22年5月	22年6月	22年7月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底(マスク着用や手洗いなど)	87.9	85.7	85.1	-0.6	-7.8	79.3	78.9	75.2	-3.7	-5.5	-9.9
十分な運動・栄養・睡眠	70.9	70.4	71.5	+1.1	-2.2	76.9	76.2	78.8	+2.6	-3.2	+7.3
キャッシュレスでの支払い	61.9	60.7	62.2	+1.5	-1.4	65.0	64.0	65.9	+1.9	-1.2	+3.7
感染対策商品や日用品の備蓄	64.9	63.6	61.9	-1.7	-5.9	65.1	65.2	62.1	-3.1	-5.2	+0.2
家の中でできる娯楽	55.0	54.0	52.6	-1.4	-17.7	50.2	51.6	49.1	-2.5	-5.0	-3.5
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	53.7	50.3	51.9	+1.6	-8.1	51.7	49.3	48.5	-0.8	-4.6	-3.4
感染対策を徹底している店や施設の利用	53.8	51.8	51.5	-0.3	-6.5	53.2	51.3	51.3	±0.0	-6.0	-0.2
自分で料理する	51.7	51.4	49.1	-2.3	-9.5	58.3	59.9	57.8	-2.1	-6.2	+8.7
ストリーミングサービスの利用(動画や音楽など)	43.3	42.2	43.5	+1.3	-5.5	45.1	45.8	46.5	+0.7	-3.9	+3.0
スマホやパソコンなどでのゲーム	43.9	41.4	42.0	+0.6	-4.6	43.8	43.7	44.5	+0.8	-0.7	+2.5
自家用車での移動	43.1	42.6	41.3	-1.3	-11.2	45.3	43.9	41.7	-2.2	-5.6	+0.4
SNSの閲覧・投稿	38.1	38.1	39.6	+1.5	-0.9	47.9	47.1	47.1	±0.0	+1.2	+7.5
家の中でできる運動	39.2	41.7	39.2	-2.5	-5.4	48.4	47.5	45.1	-2.4	-3.8	+5.9
人が密集しない屋外でのレジャー	45.1	44.0	38.8	-5.2	-2.1	50.1	48.8	46.3	-2.5	-4.9	+7.5
人が密集しない屋外での運動	39.3	38.1	36.9	-1.2	-3.6	44.9	42.1	41.7	-0.4	-3.0	+4.8
インターネット通販や出前の利用	37.2	39.1	34.7	-4.4	-13.2	42.3	39.8	39.3	-0.5	-3.5	+4.6
時差通勤・時差通学	33.2	30.8	31.5	+0.7	-5.0	38.1	35.7	33.7	-2.0	-3.2	+2.2
副業(検討含む)	29.3	28.3	29.7	+1.4	+0.7	30.1	31.0	30.7	-0.3	-0.2	+1.0
家の環境充実(通信環境整備や家電購入など)	29.1	29.0	29.1	+0.1	-2.5	36.7	36.2	35.5	-0.7	-1.1	+6.4
投資や資産運用	26.8	27.1	26.3	-0.8	-1.5	36.6	35.5	34.1	-1.4	-1.6	+7.8
モノを手作りする(手芸、リフォーム、DIYなど)	25.2	27.1	24.5	-2.6	-3.3	30.5	32.2	29.8	-2.4	-2.9	+5.3
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	23.3	25.0	24.2	-0.8	+0.1	27.9	27.1	27.3	+0.2	+0.8	+3.1
普段より少し良いものを買う	24.0	26.0	24.2	-1.8	-3.1	29.9	30.7	28.7	-2.0	-2.1	+4.5
就職・転職・起業(検討含む)	23.4	23.4	24.0	+0.6	+1.1	25.7	24.6	25.2	+0.6	+0.3	+1.2
テレワーク※有職者ベース	27.4	27.1	23.4	-3.7	-7.7	29.0	30.0	25.4	-4.6	-5.1	+2.0
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	23.5	25.9	23.3	-2.6	-1.4	28.7	30.7	29.0	-1.7	+0.5	+5.7
お店・団体の支援	17.3	18.0	18.2	+0.2	-0.3	21.5	21.9	21.3	-0.6	-2.4	+3.1
オンライン学習	18.3	19.4	18.0	-1.4	+0.5	24.0	22.9	23.1	+0.2	+0.7	+5.1
オンラインでの飲み会・食事会	17.3	17.8	16.7	-1.1	-1.2	17.3	17.1	16.7	-0.4	-1.1	±0.0
転居やリフォーム、複数拠点での生活(検討含む)	17.9	17.2	16.3	-0.9	-0.5	21.5	21.0	21.2	+0.2	+1.6	+4.9

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答:あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

[※有職者]
2022年 7月 :1,103人
2022年 6月 :1,057人
2022年 5月 :1,082人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次に挙げるような行動をしたいと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答:すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域 ①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)
②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)
③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)
調査対象者 20~69歳の男女
対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
調査人数 合計1,500人 (単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	131	143	180	172	127	753
女性	128	140	178	169	132	747
合計	259	283	358	341	259	1,500

調査方法 インターネット調査
調査時期 2022年7月1日(金)~4日(月)(2020年3月から調査開始/毎月月上旬に調査実施)
企画分析 博報堂生活総合研究所
実施集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き ※感染者数の出典: 関連ホームページ(厚生労働省7月18日、東京都7月19日時点)

<2020年>

- 4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発出(5/6まで)
緊急事態宣言を全国に拡大
- 5月 緊急事態宣言が解除(39県、後に大阪・兵庫・京都)
1都3県含む47都道府県すべてで解除
- 6月 東京で警戒情報「東京アラート」が発動
- 9月 東京でGoToトラベルの予約開始
- 10月 GoToイートの予約開始
- 11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明
東京や大阪を含め10都道府県でGoToイート中断
- 12月 GoToトラベルが一時中止(東京、後に全国)

<2021年>

- 4月 新規感染者が全国2万5千人超、東京で5千人超を記録
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)、9月末まで延長
- 5月 新規感染者の減少 月初の2万人台が中旬には6千人規模に、下旬には千人を下回る日も
重症者の減少 初旬2千人超で過去最多を更新後、減少を続け月末には千人を下回る
ワクチンの2回接種者が全人口の5割を超える
- 9月 緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)が全面解除(9/30)
- 10月 新規感染者数が100人以下、東京では一桁になるなど減少傾向が続く
- 11月 大規模イベントの上限制限撤廃 1都3県と大阪で飲食店への自粛要請の緩和
- 12月 下旬まで感染者数は低位推移 下旬に大阪や東京でオミクロン株の市中感染

<2022年>

- 1月 1日9万人超など全国感染者数が急増 自宅療養者、救急搬送困難事例も大きく増加
「まん延防止等重点措置」の適用自治体は拡大を続け、月末には34都道府県に
- 2月 全国感染者数が1日10万人突破後、減少傾向に 北京冬季五輪・パラリンピック開幕
まん延防止等重点措置、5県では2/20をもって解除、18都道府県では3/21まで延長決定
- 3月 まん延防止等重点措置が18都道府県で解除(3/21)。全面解除は2か月半ぶり
- 4月 全国の新規感染者数、初旬に拡大傾向をみせるも、その後は減少傾向へ
- 5月 新規感染者は減少傾向 厚労省、マスク着用の考え方を発表(5/20)

[今回の調査時点までの詳細]

- 6月10日 政府、訪日外国人の受け入れ手続きを約2年ぶりに再開
- 6月13日 東京の感染者数960人 5か月ぶりに1千人を下回る 全国では5,995人
- 6月17日 観光庁、観光支援策「県民割」の適用対象を7月前半から全国に広げる方針を発表
- 6月23日 厚生労働省へ助言する専門家組織「新規感染者数の減少は全国的に鈍化、下げ止まり」
- 6月30日 新規感染者数、29都道府県で前週を上回る 都の警戒レベルも上から2番目に引き上げ
- 7月2日 全国の新規感染者数、5日連続で2万人超
東京は3,616人で前週の同曜日を15日連続で上回る

<備考>

- ・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。
- ・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>

【本件に関するお問い合わせ】 株式会社博報堂 広報室 玉・山田 koho.mail@hakuhodo.co.jp 03-6441-6161